

東京音楽大学吹奏楽アカデミー

専攻生と講師による春期修了演奏会

2019年7月24日

池袋キャンパス 100周年記念ホール



2019年4月に開設した吹奏楽アカデミー専攻の記念すべき第一回目の演奏会が開催されました。吹奏楽が大好きで、夢と希望に満ち溢れた8名の一年生と、15名のプロの教授陣による演奏。小編成ながら、まとまったすばらしい響きに会場からは大きな拍手が送られました。約1時間の演奏会の後、お客様からは口々に4年間とおして聴いてみたい、秋期の演奏会もぜひ来たいという声があがりました。演奏者と指導者、会場のそれぞれの感想を広報課で取材しました。





下野 竜也特任教授



学生たちの音楽を愛する純粋な気持ちは、教員たちも得るものがたくさんあります。40人、50人でやってきた吹奏楽ではなく、少人数で音楽を楽しみ、そこでどういったことができるかは、吹奏楽アカデミーのひとつの使命だと感じております。東京音楽大学ならではの贅沢な環境で、将来指導者になっていく学生さんたちが、現場に近い状況で、身をもって体験するというのが大切なのではないかと思います。

小串 俊寿教授



つい3月まで高校生だった8名の学生。この三か月間一所懸命に頑張ってきました。プロのすばらしいプレイヤーのみなさんに学生たちがどんどん近づいて、本番は音色ひとつにしてもアタックひとつにしても、ものすごくクオリティが高かったと思います。教員一同、これからも一所懸命がんばっていきますので、これからもよろしくお願いします。

外園 祥一郎教授



下野竜也先生の指揮の力も、もちろんですが、それにちゃんと応えられる学生の皆さんというのがもっとすごいと思いました。プレッシャーに動じることなく、すばらしい音楽をプロと一緒に奏でて、スムーズに演奏が進んだことに、私は学生の皆さんの力を感じました。

中橋 愛生准教授



普段は理論の部分を指導しているので、はじめて合奏を聞いた時は、非常に感激でした。数か月前は高校生だった学生たちが、力まかせの音楽ではない、「吹奏楽」をやっている感じがしました。学生たちが4年生になるまで、どういうふう成長していくのかを楽しんでいただければと思います。

吹奏楽アカデミー専攻(サクソフォン)大学1年 片桐 楓絃さん(インスペクター)※写真上段左から2番目

先生がたに囲まれて緊張しましたが、すばらしい本番を迎えることができ、とてもよかったです。今後もっと人数が増えていくと思いますが、ますます活気ある吹奏楽アカデミーになればいいなと思いました。

演奏会の感想

本学教員の感想 田代 俊文教授(指揮)

今日は素晴らしい演奏でした。少人数というハンデを全然感じさせない、きれいな響きですばらしかったと思います。

保護者の方の感想

入学して、子どもたちがどう過ごしているのかを全然知らなかったのですが、わずか三か月の集大成を見ることができて、感無量でした。入学させていただいてほんとうによかったです。これからいろいろな曲にチャレンジしていくなかで、みなさんとの仲も深まって、演奏もレベルアップしていくと思うので、次の演奏会を心待ちにしています。

保護者の方の感想

すごくよかったですと思います。この専攻の理念にも感銘を受けているので、感慨深かったです。演奏する姿は高校生までとは衣装も異なり、あらたな気持ちになりました。先生の言葉を信じて東京音楽大学に入学してよかったですと思います。

東海大学附属高輪台高等学校 吹奏楽部顧問 畠田 貴生先生

こういう「新しい形」の大学での吹奏楽の学びというのが、自分が高校生だった頃にあったら絶対入学していたと感じます。東京音楽大学の教育の理念は素晴らしいと思います。集中して勉強できる環境がうらやましいなと感じますし、周りにもどんどん勧めたいと思います。



演奏会曲目

ハリー・モーティマー(arr.渡部哲哉)／行進曲「メダリオン」

グスターヴ・ホルスト(arr.山本教生)／ムーアサイド組曲より

I.スケルツォ II.夜想曲 III.行進曲

レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ(arr.山本教生)／5つのイギリス民謡

I.黒い目の船乗り II.春の季節 III.まるで潮が流れるように IV.恋人の霊 V.酒宴の歌

エドワード・エルガー(arr.山本教生)／3つのバイエルン舞曲

I.踊り II.子守歌 III.射手

アンコール

エドワード・エルガー／愛の挨拶

ケネス・アルフォード／ナイルの守り

指揮：下野 竜也特任教授

演奏：吹奏楽アカデミー専攻生及び講師